

平成27年度 三学期総務管理部マネジメント									
学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成								
重点努力目標	(1)生活リズムや基本的な生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 (2)人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3)生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に希望や誇りをもって、自己実現を図っていくことのできる学校づくりをめざす。								
分掌重点目標	安心・安全で快適な学校生活の実現								
目標 Plan	2学期の成果と課題・措置 (Action)	分掌がめざす 学校の姿	3学期の常時活動 Do	1 月	2 月	3 月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題・措置 (Action)
本③地②機① シ本域学管総 メ校相校理務 ン教互の体部 ト職の制制と サ員スリのの イのク組整 ケ「ラみ備報 ル学ムのに 構校造積努連 策運化極め に営を的る相 努へ図な。・ 力に確 す取報 の参り発 画組信 」み・ 」をP 」通「 」協しA 」働 」・動 」・さ 」ら活 」貢な性 」献る化 」「 」意開 」地城 」のれ行 」高た事 」場学へ 」を校の 」を積 」を極 」頭く的 」に参 」置へ画 」た進 」教等 」育学 」計校 」画管 」の理 」マ家 」・ 」危	点検表の提出は100%に到達し、新規破損件数も各月5件未満だった。しかし、同じ職員が毎月同じ場所を点検することもあり、気づきが少ないことも懸念される。故意による時計の破損が1件あり、一部弁償を依頼した。昨年の同時期に比べ電気使用料のみ0.6%増、水道3%、ガス25%、北使用量の減だった。 点検者や点検場所を交代し、異なる視点での安全点検を実施したい。故意による破損を生じないようにするためにも、施設を大切にすする学校の雰囲気づくりをしていく。 光熱水費については必要な場面で適正な使用を徹底させる。用紙類は引き続き現状維持で節約に取り組みたい。	生徒が「安心・安全な学校である」と感じることができ	○設備・備品の適切な管理と運用	○1月安全点検日 ・備品の整備・設備運用規定の見直し ・不必要な備品の効率的な廃棄	○2月安全点検日	○3月安全点検日 ○備品の整理・点検 ○不必要な備品の廃棄作業 ○各教室のワックスがけ ○職員更衣室・教材室・書庫の整理	3月末(3/28あたり)	安全点検表の提出100% 毎月の安全点検の新規破損件数が5件以内 故意による修繕費0円 光熱費が昨年度比で5%減	
	メール経由でのウィルス警告については迅速な対応がとれた。 アニメ映画に係る外来者の来校に対応して、町教委と看板設置、職員の対応の意思統一ができた。		○環境・危機管理体制の整備と運用	・不審者マニュアルに沿った行動行動行動 ・インターネット・パソコン利用規程の遵守 ・各種マニュアルの改訂検討			危機管理に対する意識が向上している。	インターネット・パソコン利用規程を逸脱する行為0件	
	年度末を迎えるにあたり、3学期の成績、年間の成長等処理が増えるので、生徒のデータの保存など、再度徹底する。		○教育課程の適切な実施	・教育課程の適切な実施 ・時数統計の過案記載(年度末までの予測時数の記載) ・全職員へ過案の事前提示 ・			全てのマネジメントが遅延することなく策定できている	文書の期限内提出率100% 3学期の予定時数確保 教科や学級間の時数の差が3時間以内。	
	このまま継続 少し早目の過案計画により、授業時間数の調整を行う。 職員質問紙によるとNO残業DAYのとりくみは半数に留まっている。タイムレコーダ入力の方5%超は達成できたが、それが超勧減の意図には結びついていない。 年度末を迎え、業務は増えるが、優先順位を考えながら計画的に仕事をする。		○NO残業DAYの実施	○1月NO残業DAY 一日一回メールチェック タイムレコーダーの毎日入力	○2月NO残業DAY	○3月NO残業DAY	NO残業DAYに全職員が参加する。	毎月NO残業DAYを実施する。 実施率50%	